れに拍車をかける懸念があることから、新聞への軽減税率導入を求める意見書案（委員会提出）を可決し、後日、内閣総理大臣ほか国の関係機関へ意見書を提出しました。

指定管理者の指定

道の駅しんぐうの指定管理者を指定

本年3月末で現在の指定管理期間が満了するため、指定管理者を公募し、本市指定管理者審査委員会で審査を行った結果、平成29年3月末までの期間、次の団体を管理者として指定しました。

〔指定団体〕
株式会社　共立メンテナンス関西支店

その他の案件

二柏野地区でほ場整備

○土地改良事業（二柏野地区）の施行について

農地区画の拡大による遊休農地の解消と、老朽化した用排水路の整備による維持管理費の軽減を図り、地区の農業生産性を高めるため、ほ場整備事業を実施するものです。

〔所在地〕新宮町二柏野
〔面積〕1・5ヘクタール
〔工事期間〕
平成27年度完了予定

揖龍広域センターを廃止

○太子町との揖龍広域センター等の事務委託の廃止について

揖龍広域センター及び揖龍視聴覚ライブラリーは、かつて、揖龍保健衛生施設事務組合や休日夜間急病センターなど数多くの団体の活動拠点になっていましたが、現在、これらが他の施設へ移転などしており、広域的運営の必要性が薄れたため、太子町との事務委託を廃止し、施設の運営をやめるものです。

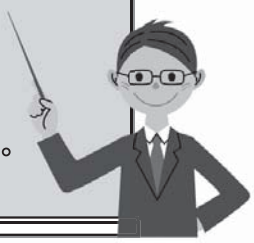
その他

○請願（新聞購読料への消費税軽減税率の適用）
○たつの市水防協議会条例の一部改正
○たつの市青少年問題協議会設置条例の一部改正
○たつの市社会教育委員設置条例の一部改正

12月定例会における

各常任委員会での主な質疑

提案された議案は、所管の各委員会に付託して審査を行いました。



総務文教常任委員会

◆たつの市職員の再任用に関する条例制定

問　再任用を希望する職員は、全員、雇用が保証されるのか。

答　再任用での希望には、原則、再任用での雇用を考えている。しかし、雇用を保証するものではなく、勤務実績、健康状態等により判断したい。

問　再任用する職員が増えた場合、新規採用が減ることを危惧するがどうか。

答　この制度の運用に即して、新規採用を抑えることは考えていないが、今後は、本市の定員適正化計画や人事院勧告で65歳定年を打ち出していることからも、再任用制度との兼ね合いを考える必要がある。

◆指定管理者の指定（道の駅しんぐう）

問　選定の基準はどのようなものであったか。

答　①適正かつ平等な利用の確保、②施設の効用の最大限の発揮、③経費節減の取り組み、④安定的な管理運営に必要な能力、⑤その他の残る要素、の5つの柱に16の基準項目で配点した。応募のあった3団体のプレゼンテーションを通して、15人の審査員が採点した。

◆太子町との揖龍広域センター等の事務委託の廃止

問　廃止した後、揖龍広域センター内に残る事業体は何か。また、部屋はどのように対処するのか。

答　現在、揖龍教育研究所と揖龍少年育成センターがある。どちらも任意の団体であるため、これまで室料は無料であったが、今後は、たつの市の施設となることから、実費として使用料と光熱費を徴収する。また、部屋は会議室としての利用を考えている。

生活福祉常任委員会

◆たつの市介護老人保健施設条例の一部改正

問　消費税が8％に引き上げられることによる改正との説明であるが、消費税が10％になる時も引き上げを考えているのか。

答　病院の経営状況は赤字なので、今後、消費税の引き上げがあれば転嫁する予定である。

◆平成25年度たつの市一般会計補正予算（第3号）

問　太陽光発電システム設置補助金1000万円について、何件分を想定しているのか。

答　80件分を想定した。

問　障害児通所支援給付金2382万5千円の補正について、金額が大きいが、通所施設が増えたのか。

答　施設は増えていない。1つの施設で定款を変更し、利用定員を減らしており、定員が減ることによって利用者1人当たりの報酬単価がアップしたのが要因のひとつである。

問　システム関連導入委託について、どのような内容なのか。

答　子ども子育て支援の新制度について新しいシステムを取り入れるものである。平成27年度のスタートに向け、平成26年